

「克雪」から「利雪」へ

市では、これまでの雪を克服する「克雪」だけでなく、雪を活用する「利雪」の考え方に基づく施策を進めています。その一つが、冬の雪を貯蔵しておき、施設の冷房などを行う「雪の冷熱エネルギー利用」です。

札幌駅北口広場地下にある「都心北融雪槽」では、槽内に保存した雪を利用して、駅商業施設や札幌第一合同庁舎など札幌駅北口周辺施設に、地域冷房を供給するという実験に取り組みます。

また、東区中沼のモエレ沼公園に建設中の「ガラスのピラミッド」でも、雪を活用した冷房システムを導入。公園内で集めた雪を地下倉庫に蓄え、その冷熱を館内の冷房に役立てていきます。

都心部エリアの雪を処理する都心北融雪槽



大橋君 昨年、北野地区の福祉のまち推進センターから学校に協力依頼があり、全校生徒に呼び掛けたのが始まりです。

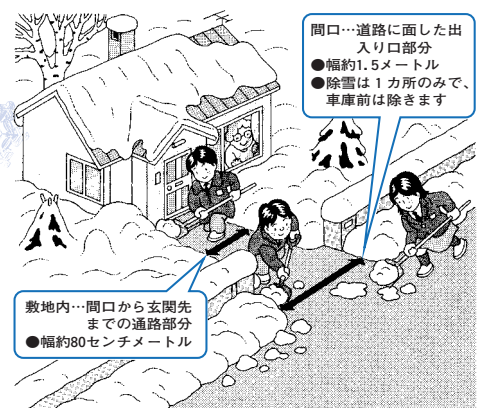
山田君 今年は、全校生徒の約五分の一に当たる七十八人が地域協力員に登録し、四、五人のグループで一軒を受け持っています。

——応募したきっかけは？

山田君 僕は、野球部に所属しているので、冬場の筋力トレーニングにな



北野中学校2年 おおはし 山田 君 (左) しょうた 翔太 君 (右) のりみち 法道



ると思つたからです。

大橋君 僕もきっかけは同じですが、去年、実際に体験してみても、今年近所のお年寄りの手助けがしたいと思うようになりました。

——登校前の除雪作業は大変ですか。

山田君 自分の家では雪かきを手伝っ

たことがなかったもので、除雪作業の大変さが身に染みて分かりました。

大橋君 僕たちでも、ちよつと動くと汗だくになる作業なので、お年寄りにとって、玄関前の固い雪を取り除くのは、本当につらいと思います。

——今年の抱負をお願いします。

山田君 今年も、近所のおじいちゃん、おばあちゃんに喜ばれるよう頑張りたいです。

大橋君 去年は寝坊して、メンバーに迷惑を掛けたことがあったので、今年皆勤賞を目指します。



地域が一丸となって、冬の暮らしを支え合う北野地区。今年も、地域への貢献を通じて、豊かな人間性をはぐくんでいきます。

札幌に住んでいるからには、冬期間の雪を避けることができません。除雪や交通渋滞などの苦勞もあります。しかし、その一方で雪は、ウィンタースポーツなどさまざまな楽しみをもたらします。冬の暮らしを快適に過ごせるかどうかは、一人ひとりの心掛け次第。市は、より効果的・効果的な雪対策に取り組んでいます。皆さんも、冬のライフスタイルをもう一度見つめ直してください。

お問い合わせ

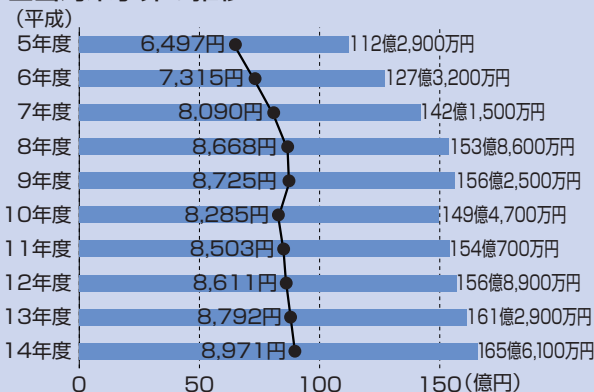
雪対策については
建設局雪対策室事業課 ☎(21)266622
福祉除雪について
保健福祉局総務課 ☎(21)266622

195億円

除雪距離の延長や雪処理施設の設置などにより、市の雪対策費は年々増え続けてきました。平成十四年度の雪対策予算の総額は、過去最高となる約百六十五億円。市民一人当たり換算すると、約九千円になります。

雪対策費は、一部が国からの補助金ですが、ほとんどが、市独自の財源から支出されています。ですから、除雪水準を上げると、その費用増加による影響は、ほかの市政サービス全般に及びます。厳しい財政状況の中、「どこまで除雪を行うのか」という点について、市民共通の認識を確立することが、今後の課題といえます。

雪対策予算の推移



除雪についてのお問い合わせ

お住まいの地区の除雪センター(24時間対応)へ。所在地・電話番号は、本誌とじ込みの「冬のガイド帳」の2、3ページをご覧ください。